

輸出事業計画

※申請者名：(株)宇和島プロジェクト

品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 本県主力輸出商品であるブリ、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
- 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向
- 愛媛県の輸出は増加傾向（R2はコロナでダウン）

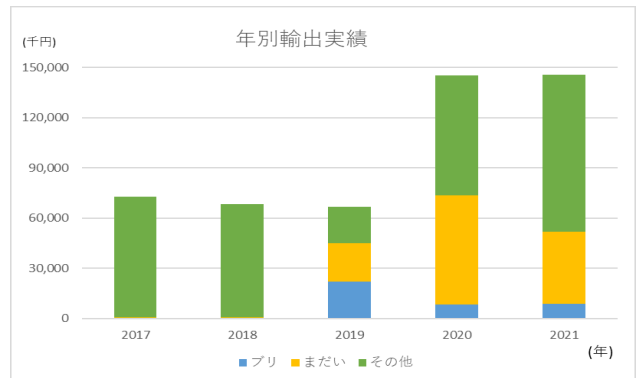
（背景）輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等

（追い風）日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等

（実態）シンガポール向けマダイ伸長

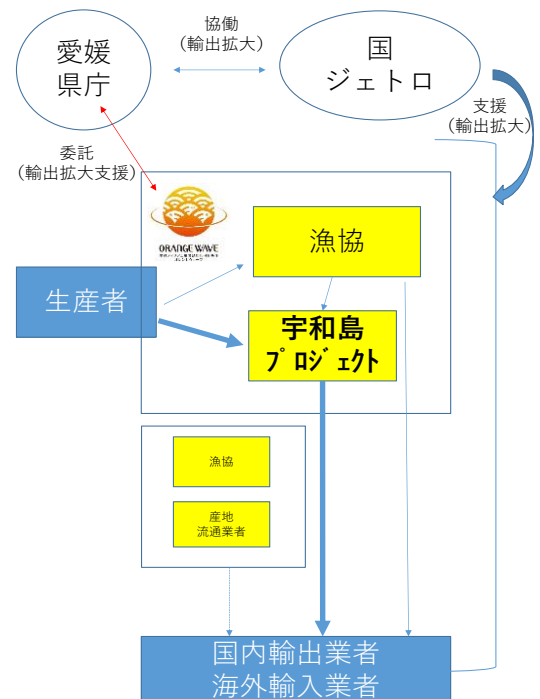
【課題】

- 輸出 へさらなる輸出拡大に向けて～
 - ・HACCP施設の維持拡大
 - ・輸出障壁（放射性物質検査等）の撤廃
 - ・体制整備（FSMA対応等）
 - ・アイテム確保（漁業認証、戦略魚種）
 - ・認知度向上（愛育フィッシュ、EHIME JAPAN）
 - ・ビハインド（価格等）
 - ・マーケットニーズの把握



2. 輸出事業計画の取組内容

項目	対応策
HACCP輸出	・HACCP施設整備 ・輸出拡大に必要な機器の整備等
輸出障壁	・輸出証明書の迅速な申請体制の整備
体制整備	・HACCPプラン実行、FSMA対応
漁業認証	・認証取得及び維持 ・現地ニーズの把握
戦略商品	・愛育フィッシュ（マダイ、ブリ）
認知度	・県プロモーション活動への参加 ・国（ジェトロ）と一体となったプロモーション活動への参加
ビハインド	・多量多品種の強みを生かした輸出 ・共同集荷輸送の検討
マーケットニーズの把握	・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等



オレンジウェーブを軸とした官民一体となった輸出拡大対策に取り組むこととし、国輸出戦略による拡大策と協働で愛育フィッシュの輸出を伸長。国輸出関連事業についても積極的に活用。

輸出事業計画

※申請者名：(株)宇和島プロジェクト

品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

愛媛県産ぶり	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出額	8,658千円	104,787千円	+96,129千円
輸出货量	8.0 t	67.61 t	+59.61 t
輸出先国	アジア	アジア、北米	北米

愛媛県産まだい	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出額	43,198千円	27,935千円	△15,263千円
輸出货量	15.5 t	9.85 t	△5.65 t
輸出先国	アジア	アジア、北米	北米

愛媛県産その他	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出額	94,038千円	78,818千円	△15,220千円
輸出货量	222.16 t	166.54 t	△55.62 t
輸出先国	アジア	アジア	